

元老院議官榎村正直申報京都府下巡視ノ景況
及琵琶湖疏水ニ係ル事情ノ件

A0302958800

公文別録・地方巡察使・明治十五年、明治十六年・第三卷・明治十六年

元老院議官榎村正直申報京都府下巡視ノ景況
及琵琶湖疏水ニ係ル事情ノ件

巡二号

過日ヨリ京都府下巡視未夕半途ニ候得共、都合ニヨリ今日ヨリ大坂府下江引移リ申候。就而者京都府下之儀ハ、事頗多端ニ涉リ帰東之節ニ譲リ、差向キ湖水切鑿リ加茂川江引水之義者、此節知事東上申請中之内ニ付、別紙書取及市中之景况概略書進置仕候也

明治十六年五月七日 元老院議官榎村正直
太政大臣三條実美殿

琵琶湖ノ水ヲ疏シテ加茂川ニ通スル為メ大津小関越ヨリ藤尾迄隧道ヲ穿ツ、凡千三百間余。安朱村御陵村に溝渠ヲ鑿リ大日山ニ係リ隧道ヲ穿ツト又凡七百五十間余。洛東南禪寺ノ北ニ出テ水路ヲ分ツテニ派ト為シ、其一ハ南下シテ白川ト合シ加茂川ニ入、其一ハ北ニ向ヒ西ニ紆リ岡崎吉田村ヲ經、高野川ト加茂トノ出會ニ入ルト云。

度々功者ノ外人ニ邊見分セシメシモ、皆獅子飛ノ天嶮ヲ破ルノ非ナルト。又小関疏水ノ徒費タルヲ以テ此水工後城江間ノ道路改良シ汽車道通達セルヲ以テ此水工後城江間ノ第一タル舟楫ヲ通スル為メノ溝渠第二項工事要點ノ議ハ殆ト廢セリ。汽路通達セルヲ以テ湖八、湖涯ニ設クル水門ハ尤緊要ノ工事ニシテ、湖水暴漲ノ圧力ヲ量リ、完全堅固ノ設置ナラサル可カラス。第二點ノ水車器械ノ為ナラハ其費用及ヒ民間ニ於テ此器械ノ業ヲ要スルハ何ノ設置スルノ氣力アルヤヲ稽考セサル可カラス。其第三點ニ至リテハ即今京都府下此引水ヲ要スルハ何ノ為ナルヤキ有年此引水ナクシテ困窮セシコトアリシヤ。京都府下ニ於テ此引水ノ事業ハ此引水ヨリ尚急ナルコトハナキヤト思量セサルヘカラルナリ。

京都八千有余年ノ帝都ニシテ、山水明媚風氣清爽。七百年前ヨリ大權霸府ニ移リ、爾後屢戰爭ヲモ經ルト雖モ、全國人心ノ仰望歸向スル所ニシテ、輻輳繁華ノ地ヲ失ハス。街衢整正ニシテ民間ノ協議能ク調ヒ、古昔ノ遺風尚存スル者アリ。風俗間雅ニシテ、心思製出スル所ノ物品自ラ高尚ノ風致アリ。明治維新ノ際ニ當リ民政ニ着手セラレシハ即チ此府ヲ始トス。區画ヲ分チ、戶籍ヲ布キ、學校ヲ興シ、人民ノ意向ヲ定メ、人民ノ産ヲ制スル等、實ニ他ノ地方ヲシテ法ヲ此府ニ採ラシム。

榎村議官京都府下巡視之概略供回覽二候也
五月十八日 内閣書記官

- 山參議殿
- 大木參議殿
- 井上參議殿
- 松方參議殿
- 大山參議殿
- 川村參議殿
- 福岡參議殿

